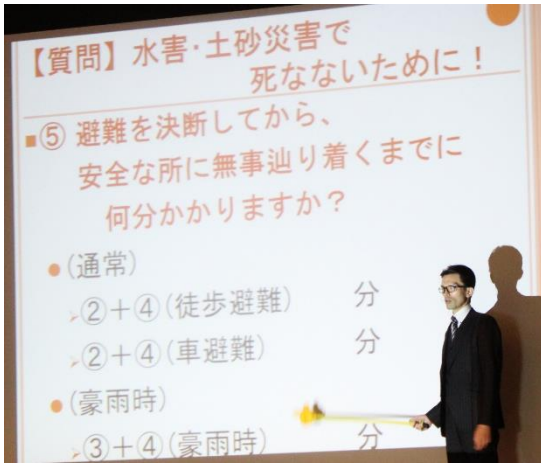


その後、過去の大雨や台風の時の TV 映像を見て、その危険性について学びました。

大雨の時など、道の上に水がたまってくると、どこが道なのか分からなくなってしまいます。また、マンホールが開いてしまっている、見えないためその上を車で走ったり、歩いたりする危険があります。マンホールが開いていると、水圧で吸い込まれる危険性があるそうです。



避難をし始める時間ではなく、「避難完了をいつにするか」を意識して、避難することが大切だと教えていただきました。



最後は、川島地区のハザードマップについてです。

ハザードマップでは、川島地区は、真っ赤に示されています。生徒達は、そういう状況を踏まえ、日常から危険な場所を把握して、災害時に備えて生活していく大切さを実感することができました。

